

令和5年4月1日

会長就任のご挨拶

全国英語教育研究団体連合会

会 長 中村 勝徳

(東京都立秋留台高等学校校長)

このたび、博田英明前会長の後任を務めさせていただくことになりました、中村勝徳(なかむら かつのり)です。よろしく願いいたします。

さて、この3年間であらためて振り返ってみますと、全国の都道府県にある各学校が、「新型コロナウイルス感染拡大防止」に向けて様々な対応をしてきました。特に、この春卒業した生徒は、緊急事態宣言に基づき、入学式後(東京都の都立学校は入学式も中止となりました。)、約2か月間の臨時休校から新学期が始まったことは、記憶から離れることはないと思います。3月の卒業式の送辞や答辞においても、「新型コロナウイルス」という言葉が何度出てきたことでしょうか。しかし、私たち教員はもちろん、生徒たちも、このような緊急事態を冷静に受け止め、知恵を出し合い工夫しながらこの3年間教育活動を行ってきました。そして、同時にこの間、「オンライン授業」を始めとするデジタル教育の普及が大いに進み、「学びの質」の改善がなされてきたこともまた事実なのではないでしょうか。

コロナ禍で「ピンチはチャンスへ」という言葉が良く使われましたが、教育の現場においても、まさにこの言葉があてはまると思います。全英連でも、この間、第71回山形大会・第72回佐賀大会において、オンラインによる開催が実施され、開催地区の先生方による創意工夫された研究発表がなされました。

今、アフターコロナに向けて、私たち英語教員は、この3年間で学んだ知恵や工夫、あるいは時に苦労した実践を再び対面形式で持ちよることによって、未来を切り開いていく子どもたちのための英語教育をさらに発展させていくことが、これまで以上に求められていると思います。そのためにも、全国的な組織である全英連の役割はますます重要になってきます。これまでの歴代の会長の皆様方や全国の会員の皆様方の率直な御意見を伺いながら、若手の人材育成を行い、さらに全英連が発展するよう力を尽くしていきたいと思いますので、これまでと変わらぬ御支援と御協力をお願いいたします。

